

2003年福島県沖、2005年宮城県沖津波と周辺の津波波源

The 2003 Fukushima-Oki, 2005 Miyagi-Oki Tsunamis and Tsunami Sources in the Miyagi Region.

羽鳥 徳太郎 [1]

Tokutaro Hatori[1]

[1] なし

[1] None

2003年10月31日福島県沖地震(M6.8)と2005年8月16日宮城県沖地震(M7.2)が発生し、三陸沿岸で30cm以下の小津波が観測された。各地の波高と震央距離との関係図によれば、津波マグニチュードは、それぞれ $m = -0.5$ と $m = -1$ に判定される。津波の逆伝播図によると、波源域は東西方向に60kmと45kmに推定され、余震域と重なる。地震の規模と比べ、2005年津波では規模と波源面積が著しく小さい。

宮城県沖では、津波の発生頻度が高く、109年間(1897-2005)に14回記録されているが、86%の津波($m < 0$, 沿岸波高50cm以下)は無被害であった。しかし、海溝付近で発生したとみなせる1793年寛政津波($m = 3$)と、1897年津波($m = 2$)による被災歴がある。政府の地震調査委員会では「想定している地震(M7.5-8.0)ではなく、それを促進する地震」との見解を示した。1897年以降、宮城県沖の波源域分布図からも、海溝付近に空白域が認められる。